

平成29年1月27日

No. 17-024

株式会社 伊予銀行

環境省の「環境配慮型融資促進利子補給事業」を活用したシンジケートローンを組成！

～環境に配慮した設備投資をお手伝い～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、「環境配慮型融資促進利子補給事業」（以下、「利子補給事業」）を活用して、セキ株式会社様（愛媛県松山市、代表取締役社長 関 啓三様）に対して、株式会社日本政策投資銀行との共同アレンジャーとしてシンジケーション方式のタームローンを組成しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

この「利子補給事業」は、環境に配慮した設備投資に対して、お取引先が資金を調達するにあたって、環境格付の取得や二酸化炭素排出量等の削減目標を誓約する等の条件を満たした場合に、国から利子補給を受けることができるものです。

記

○案件概要

項 目	内 容
契約締結日	平成29年1月23日（月）
実 行 日	平成29年1月25日（水）
融資形態	シンジケーション方式のタームローン
組成金額	10億円
資金使途	新工場建築における建屋および設備
アレンジャー	当行、日本政策投資銀行
エージェント	当行、日本政策投資銀行
参加金融機関	当行、日本政策投資銀行、みずほ銀行

○セキ株式会社様

項 目	内 容
企 業 名	セキ株式会社（代表取締役社長 関 啓三）
所 在 地	愛媛県松山市湊町七丁目7番地1
業 種	印刷業
CO 排出量削減目標	「原単位当たりCO 排出量」を3年間で基準年度比3%以上削減
環境格付	日本政策投資銀行による「DB」環境格付」を取得
取組み等	・明治41年創業の印刷会社であり、四国域内外の幅広い顧客に対し、カタログや書籍・雑誌等の印刷、およびカレンダー製造等を行っています。 ・フレクソ印刷機およびクリーンルーム設備を備えた新工場の建設を予定しており、従来の紙媒体印刷から食品パッケージ印刷等へ事業領域の拡大を目指しております。 ・従来の印刷方法と比較してVOC（揮発性有機化合物）使用量の少ない水性フレクソ印刷の導入を決定し、環境に配慮した事業展開を計画しています。 ・FSC等の持続可能な調達に配慮した認証紙を使用した商品を環境配慮製品と位置づけ、販路拡大を図っております。

以 上

< シンジケートローン >

- 複数の金融機関がシンジケート団を組成し、同一の契約書に基づき同一条件で信用供与を行うものです。
- お客さまにとっては、一度にまとまった金額の調達が可能となることで、借入の事務コストが削減でき、調達基盤の確保・拡充が図れるなどのメリットがあります。
- 信用力を得ている企業が対象となるため、取引先に対する信用力の向上につながります。

< 環境配慮型融資促進利子補給事業 >

当行は、環境省が公益財団法人環境協会を通じて実施する「平成 28 年度環境配慮型融資促進利子補給事業」の指定金融機関に認定されており、環境格付の取得や二酸化炭素排出量等の削減目標を誓約するなどの条件を満たした場合に、国から利子補給を受けることができます。

< D B J 環境格付 >

お客さまの環境に対する「環境に配慮した経営体制」、「事業領域全般にわたる環境配慮」、「主要な環境側面におけるパフォーマンスデータ」の 3 分野、合計約 120 項目について、お客さまの取組度合いに応じて、環境格付評価を実施し、結果をフィードバックしています。